

補習校だより

2018年4月24日発行



毎年メヘル月より始業する補習校も、今月でいよいよ終業となります。週に一度の授業ですが、現地校や習い事などと両立していくのは、どのご家庭も親子ともに努力が必要だったと思います。修了式の日に行われる学習発表会では、今まで日本語を学んできた成果を父兄やご来賓の前でしっかりと発表できるように練習しましょう。今月は現地校の学年末テストも始まるので、計画的に準備するとよいですね。

今月(オルディベヒト月)の予定

	イラン暦	西 暦	
第22回目授業	13972/6 パンジシャンベ	2018/4/26(木)	通常授業
休 校	2/13 パンジシャンベ	5/3(木)	休み
第23回目授業	2/20 パンジシャンベ	5/10(木)	通常授業
第24回目授業	2/27 パンジシャンベ	5/17(木)	発表会・修了式





作品介绍

今月号は、ノルーズ休み中に高学年と中学部が宿題に書いた作文を紹介します。

☆5年生は教科書「一枚の写真から」より、自分で一枚写真を選び、それをもとに想像した物語を書きました。

「迷子のボビーとパピー」 5年 奥山ティナ

ある夏の日、ボビーとパピーがお母さんに買物をたのまれ、スーパーに行きました。買物をおえた二人は、公園に着きました。

少し遊んだ後ボビーが言いました。

「暑いから川に行こうよ。」

パピーが言いました。

「いいねいこうよ。」

と、二人は行きました。

川の中から大きなくまが出てきました。ボビーとパピーはとってもこわがりました。でもくまは、とてもやさしくまですた。ボビーとパピーはくまさんといっしょに泳ぎました。そのあとだんだん空が暗くなってきました。ボビーとパピーは、泳いだあとおなかがすきました。

そのあとくまさんが言いました。

「わたしの家にきてもいいよ。」

ボビーとパピーはよろこんでくまさんの家に行きました。

くまさんの家についたあと、くまさんが川からとったサーモンの魚を焼いてごちそうしてくれました。

ボビーとパピーが言いました。

「くまさんありがとう、おいしかったよ。」

その後ボビーとパピーが家に帰ろうとしたけれど、道がわからなくなりました。迷子になった二人は泣いてしまいました。くまさんがいいました。

「泣くことないよ、ちゃんと送ってあげるよ。」

くまさんは二人を送ってあげました。おみやげにはちみつをくれました。

「くまさん、またぜったいに遊ぼうね。」

と、約束をして別れました。

ボビーとパピーは優しくくまさんをいつまでもわすれませんでした。



「ロウソクとちょう」 5年 鈴木愛良瑠

むかしむかしある山に、小さな家がありました。その家には、一人のおばあさんが住んでいました。

おばあさんは、毎晩、一本のろうソクを窓のそばにつけてお茶を飲みました。そしてろうソクを消してねました。

ある日、おばあさんがお茶を飲んでいる時、外から、かっている動物達のさわがしい鳴き声が聞こえてきました。おばあさんは、

「どうしたのじゃ。」

と、気になって外へ様子を見に行きました。おばあさんは、いそいで外に出たので、うっかりろうソクを消すのをわすれてしまいました。

その時、窓の外をぐうぜんに、一羽のちょうが飛んでいました。ちょうは、おばあさんが消しわすれたろうソクのみりよく的な光を見て、すぐにこのろうソクに恋におちてしまいました。ちょうは、もっとろうソクに近づきたいと思って開いていた窓から家の中に入り、ろうソクのすぐそばに飛んで行きました。

ちょうは、ろうソクに近づけた事がうれしくて、むちゅうになってろうソクの美しい光のまわりを飛びまわりました。ちょうは、むちゅうになって飛んでいるうちに、自分がもえている事も気づかずに、ただただろうソクのまわりを飛んでいました。

しばらくしてからちょうは、そのままろうソクのそばにおちて、死んでしまいました。帰ってきたおばあさんは、この日もいつもと同じようにろうソクを消してねました。



☆6 年は教科書「自分を見つめ直して」より。随筆を書きました。

「学校の楽しい思い出」 6 年 鈴木まり

6 年前、日本に遊びに行った時、わたしは学校にも通いました。わたしは学校に行く前、楽しみで仕方ありませんでした。学校のクラスに入って最初に思ったことは、先生がとても優しいということです。わたしは一番後ろの席に座りました。そして一番前の席がいいなと思いました。わたしはその日に初の友達を見つけることができました。とても嬉しかったです。

わたしのとなりに座っていた女の子は、わたしとけんかばかりしていました。けんかしてばかりでとても嫌な気持ちになっていましたが、最後に仲直りできました。



わたしはこの学校で友達関係を学ぶことができました。それは初めていろいろな感情がわたしの中でおこったということです。嬉しさや楽しさ、または悲しみやいかりが自分のなかで次から次へとわきました。だからこそ一番楽しい思い出になりました。

☆中学部は教科書「根拠をめいかくにして魅力を伝えよう」より、自分の好きな絵画作品を選び鑑賞文を書きました。

ゴッホ 『星月夜』



「星月夜」

中学部 長谷川沙弥

ぼくにとって印象に残った絵は、ヴィンセント・ヴァン・ゴッホが描いた『星月夜』です。

この絵の魅力は、夜に人間の作った明かりがなければ月と星の光でどれだけきれいになるかということです。

この絵からは、静かで安らかな風の音が聞こえます。まず音は聞こえませんが、西から東に吹く風の音が聞こえます。風が通る時に杉の木に当たり「カシャカシャ」と杉の木の葉がぶつかる音がします。そして、風が杉の木と村を追い越すと、村の近くにあった森に着きます。先ほどと同じように「カシャカシャ」と聞こえますが、たくさんの音なので、まるでオペラのようです。

作者は夜を描くため暗い色と、月と星の光を見せるため黄色もしくは、金色などすごく明るい色も使っています。作者が一番たくさん使った色は、青です。それは夜とか山とか森です。

うす暗くしずかな音が聞こえます。家にいる人たちは心を安らげるため家を明るくしていると、ぼくは思いました。この絵は見る人を安らかにさせてくれます。

ロックウェル 『近所に新しく来た子どもたち』



「近所に新しく来た子どもたち」

中学部 鈴木沙奈

引っ越してきたのは、猫を飼っている二人のように見える。右側に立っている三人はとても興味深く引っ越してきた子たちを見ている。まだ一言も話していない様子。先に話しかけるのは、右側に立っている子達だと思う。

二人と三人の間には、共通点がある。どちらも男の子は野球好きで、ペットも飼っているので、話すきっかけにもなりそうな気がする。

引っ越し屋が荷物を運ぶ音しかしていない気がする。

太陽はトラックの向こう側から照っていて、トラックのせいで、5人がいる所は影になっているみたい。絵には緑が多く使われていて車あまり多くないけれど、トラックがあるので、向こう側が見えないので、いなかか町かは、分からない。あまり明るい色は使

われていない。ピンクとか黄色とか白とかがあるが少し暗い感じがする。

右側の三人が野球をしていた時に、トラックが来たから、気になってトラックの方に来た時に二人に会った絵だと思う。

肌の色がちがうので、少し話しづらい感じがするけど、きっと子供たちはあまりそういうことは気にしないで、仲良くなれるようになると思う。

右側の子たちの肌は白いのに犬は黒くて、左の子たちの肌は黒いのに、猫は白というのがとてもおもしろいと思った。

ミレー 「星空の夜」



「ミレー『星空の夜』」

中学部 田中咲良

一般的にジャン・フランソワ・ミレーと言えば、農民の素朴な姿を描く農民画家として知られているようです。

紹介する作品『星空の夜』は風景が描かれています。

空にたくさんの星があります。静かな田舎道の先に、夕日が沈むところです。虫の鳴き声や、空気の流れまでも聞こえてきそうです。暗い色合いの中にた

さんの色が見えます。暗い空の色に緑、だいたい、白が明るく引き立ちます。日の光の中に動物が一匹歩いている影が見えます。田舎の空から見える満点の星空という何気ない自然の美しさです。

ミレーがこの作品を描いた時、風の音や虫の声を聞きながら、静かに沈む夕日を座って見ていたんだと、私は思います。そして、星がだんだん見えてきて、流れ星も見えて何かお願い事をしたのでしょうか。自然への感謝の気持ちもあったでしょう。

都会に暮らしている人は、この『星空の夜』のような自然の中で、ただ日が沈み、星をながめたいと思うのではないのでしょうか。

編集後記

今年度の補習校も残すところわずかになりました。授業数は毎年 23 回程ですが、その間にある行事や、授業の間に行われる家庭学習のおかげで、子どもたちの日本語力は日に日に伸びています。毎年、修了式と共に行っている学習発表会。普段、日本語を使って大勢の前で発表することのない子どもたちが、頑張る姿を観ることができるのは、保護者の一人である私にとっても楽しいことです。

発表をすることで、子どもたち皆が日本語学習をがんばったことに自信を持って、晴れ晴れしい気持ちで修了式を迎えられるよう祈っています。

テヘラン日本語補習校 生徒募集

テヘラン日本語補習校は 2009 年に日本人保護者の有志によって創設されました。日本人とイラン人のハーフの学校というイメージがありますが、そんなことはありません。ご両親の都合でイランに滞在し、インターナショナルスクール等に通わせている日本人のお子さん、日本で生まれ育ちイランに帰国してからも日本語を学びたいと考えているイラン人のお子さんなど、日本語でコミュニケーションのとれる子供ならどなたでもお越しいただけます。実年齢に相当する国語力がなくてもご心配ありません。補習校には実年齢より下の学年で一生懸命学ぶ子もたくさんいます。ご興味のある方は、開校期間中の木曜日に見学受付しております。

★対象年齢 6 歳(一年生)～15 歳(中学三年生)まで(新入生のみ)

★日時 毎週木曜日 10:30～12:30 2 時間の授業 間休憩あり
《9 月から翌年 5 月(イランのメフル月第 1 週または第 2 週目から
オルディーベヘシュト月末頃まで 年間 23 回予定+行事》

★クラス ・小学 1～2 年生クラス ・小学 3～4 年生クラス
・小学 5～6 年生クラス ・中学部クラス

★教員 4 名 補助教員 3 名 計 7 名

★料金 入学金 15,000トマン
授業料 1 回 16,500トマン(生徒数等により変更あり)

★場所 Hane Farahang BaSafa(ハネイエ ファラハンギ バーサファー)
Bolwar Ferdous Shargi Entehaye Vafa Azar Shomali
Entehaye Kuche Golzar Samte Rast

★お問い合わせ先 <mailto:teheran.nihongo2@gmail.com>

見学希望の方、詳しいお問い合わせは上記までお願いします。